

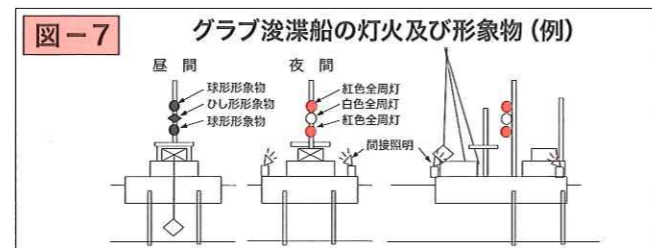
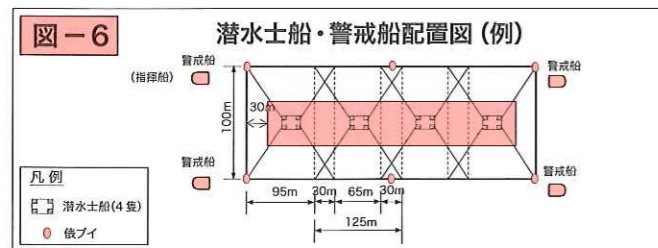
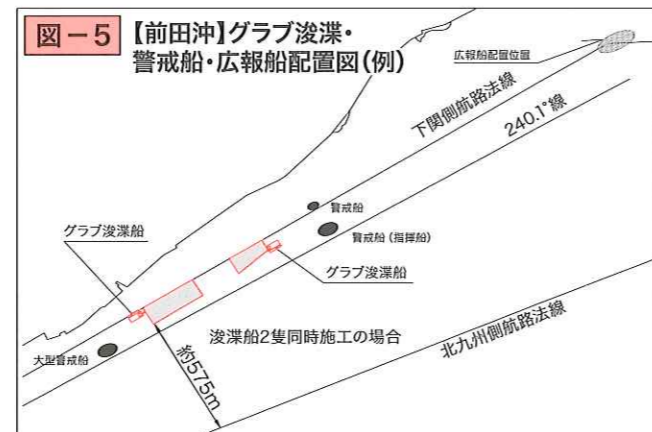
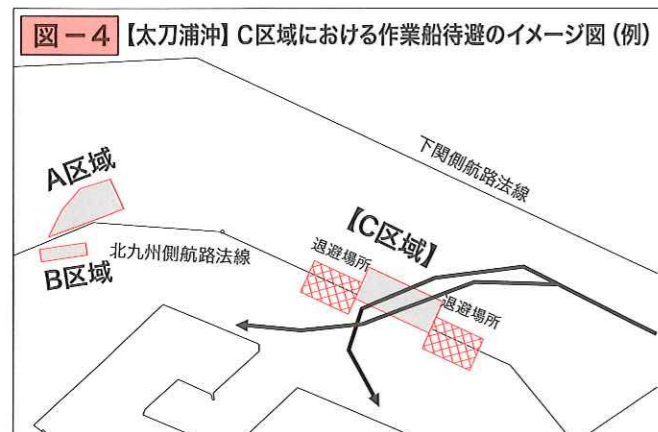
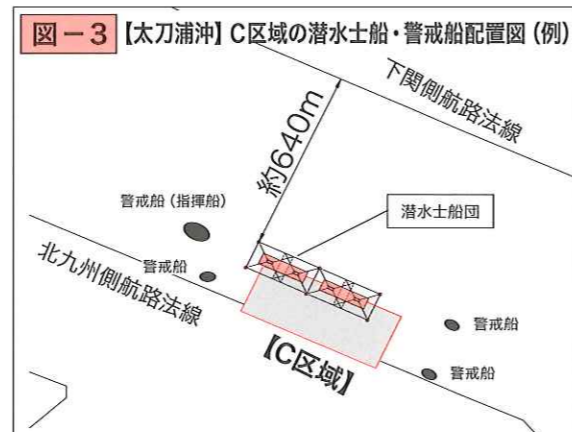
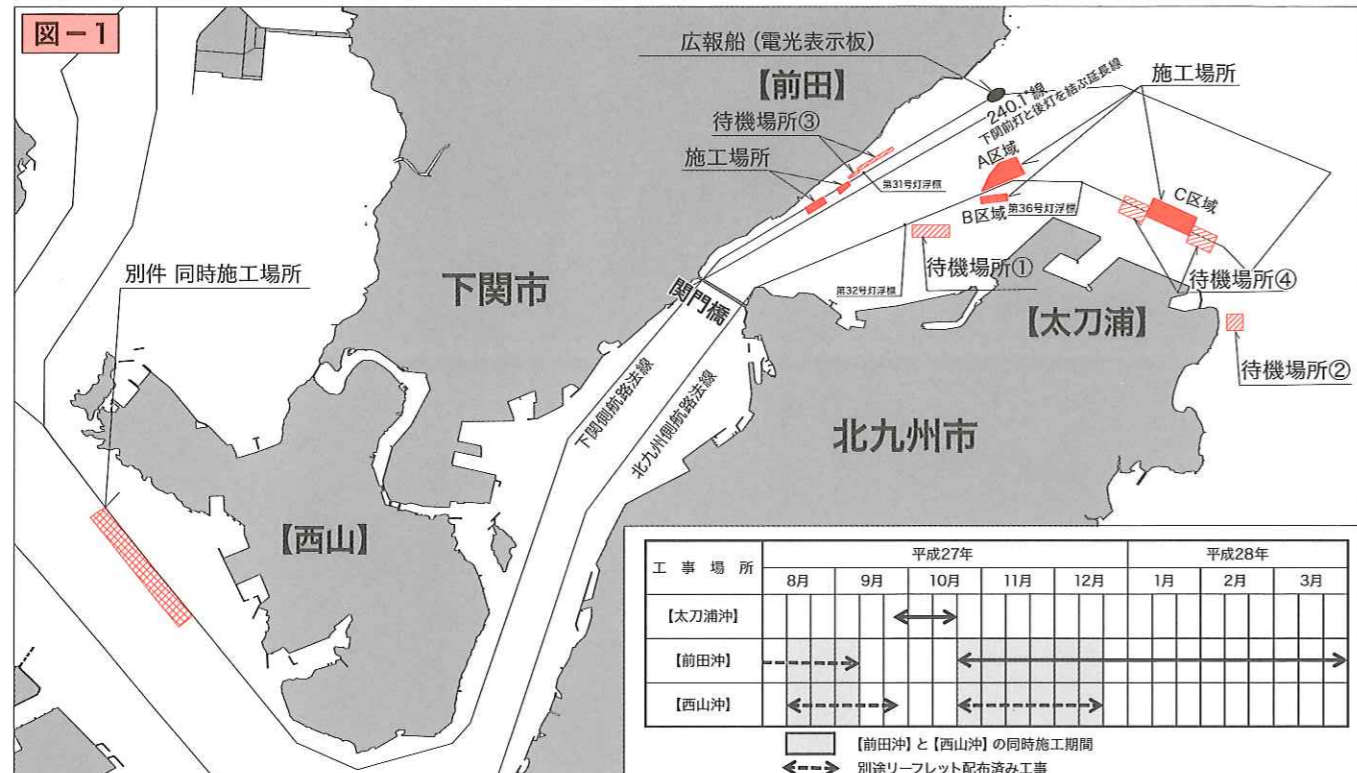
関門航路【前田沖】及び【太刀浦沖】浚渫工事等のお知らせ

九州地方整備局 関門航路事務所 TEL 093-512-8098
 海洋環境課 FAX 093-512-8106

本資料は、下記のホームページでもダウンロードできます。

<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon/>

関門航路【前田沖】のグラブ浚渫及び【太刀浦沖】の潜水探査、グラブ浚渫を実施しますので、付近を航行する船舶は十分注意して下さい。



1. 作業期間

地区名	種別	作業船種	隻数	予定期間(※1)	作業時間	対策
【太刀浦沖】 (A、C区域)	潜水探査	潜水士船	16隻 (最大)	平成27年 9月下旬～平成27年10月上旬	日の出 ～ 日没 (※2)	警戒船 4隻
	グラブ浚渫	スパッド式 グラブ浚渫船	1隻	平成27年10月上旬～平成27年10月中旬		警戒船 2隻
【太刀浦沖】 (B区域)	潜水探査	潜水士船	8隻 (最大)	平成27年 9月下旬～平成27年10月上旬		警戒船 2隻
	グラブ浚渫	スパッド式 グラブ浚渫船	1隻	平成27年10月上旬～平成27年10月中旬		警戒船 1隻
【前田沖】	グラブ浚渫 (砕岩棒による砕岩含む)	スパッド式 グラブ浚渫船	3隻 (最大)	平成27年10月下旬～平成28年 3月下旬		警戒船 3隻 (最大) 広報船 1隻

※1 作業の予定期間は一部重複していますが、同時作業は行いません。
 ※2 潜水探査の作業時間(現地潮流2ノット以下)の潮流信号所の表示の目安は4ノット以下となります。グラブ浚渫の作業時間(現地潮流4ノット以下)の潮流信号所の表示の目安は6ノット以下となります。なお、潮流信号所の表示は目安であり、目安の表示を超えた場合においても、それぞれ現地潮流2ノット及び4ノット以下の場合は作業を実施していますので、施工場所付近を航行する際はご注意ください。

2. 作業概要

- 【太刀浦沖】
 - 潜水探査(図-1、2、3、6参照)
 - 潜水士船(A、C区域では最大16隻、B区域では最大8隻)から各々潜水士が1名潜り、簡易磁気探査機を使用して探査区域内を移動しながら作業します。
 - 浚渫工事(図-1、4、7参照)
 - グラブ浚渫船(1隻)により浚渫します。
 - グラブ浚渫船は、夜間及び作業を行わない時は待機場所①または②で錨泊する場合があります。その場合は間接照明で船体を照射します。
- 【前田沖】
 - 浚渫工事(図-1、5、7参照)
 - グラブ浚渫船(最大3隻)により浚渫します。また、グラブ浚渫船に装着した砕岩棒で砕岩作業を行います。
 - グラブ浚渫船は、夜間及び作業を行わない時は間接照明で船体を照射し、待機場所③にて錨泊します。

3. 安全対策

- 【太刀浦沖】
 - 潜水探査(図-2、3、6参照)
 - 潜水士船には国際信号旗(A旗板)を掲げ、潜水作業中であることを航行船舶に明示します。
 - 潜水作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船(A、C区域は2隻、B区域は1隻)を配備します。
 - 潜水士船は可航幅が広くなるように配慮し、北九州側航路法線と概ね平行に配置します。
 - 潜水作業中は探査区域四隅に依ブイを設置します。
 - 浚渫工事(図-4、7参照)
 - グラブ浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火又は形象物を掲げます。
 - 浚渫作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船(A、C区域は2隻、B区域は1隻)を配備します。
 - 浚渫船は可航幅が広くなるように配慮し、北九州側航路法線と概ね平行に配置します。
- 【前田沖】
 - 浚渫工事(図-5、7参照)
 - グラブ浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火又は形象物を掲げます。
 - 浚渫作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船(最大3隻：浚渫船2隻以上の場合)を配備します。
 - 浚渫船は可航幅が広くなるように配慮し、下関側航路法線と概ね平行に配置します。

4. 【太刀浦沖】(C区域)作業中における太刀浦岸壁入港の連絡の協力依頼(図-1、4参照)
 C区域の作業中に太刀浦岸壁へ入港する10,000GT以上の船舶から作業船の待避要請があった場合は、待機場所④に待避します。通過予定時刻の2時間前までに下記の「関門支援業務室」へ連絡をお願いします。

5. 【前田沖】における行き会い回避の協力依頼
 早瀬瀬戸地区(前田沖)浚渫工事中は、作業場所周辺での10,000GT以上の船舶の行き会い回避のために下記の「関門支援業務室」に連絡するなど、ご協力をお願いします。

6. 通航船へのお願い

- 関門航路を航行するVHF装備船舶は、常時VHF16chを聴取するとともにこれを活用して下さい。
- AIS搭載船にあたっては、AISを正しく運用してください。
- 潜水探査及び浚渫工事中に作業現場付近を航行する場合は、操船に影響のない範囲で速力を減速するとともに、できる限り作業船団から離れて航行して下さい。
- 作業区域周辺での他船の追い越しは行わないで下さい。
- 【前田沖】作業中は広報船を配置しています。その存在を確認した際には作業中であると認識して下さい。(図-1、5参照)

7. 作業情報について

以下に本工事に関する問い合わせ先を記載します。問い合わせにあたっては、可能な限り日本語をお願いします。週間作業予定(1週間前掲載)及び毎日の作業予定は、以下に記載するHPに掲載しますので運航の際の参考にして下さい。

●関門支援業務室 作業情報、運航調整に関する連絡及び問い合わせ先
 TEL 083-222-1333 E-mail kanmonanzen@sweet.ocn.ne.jp
 FAX 083-222-1334 H P <http://www.seikaibo.ecweb.jp/kanmon/>